

# 連絡船

北海道天売高等学校

2022年12月19日発行

学校通信 第3号



## 天売学「天売の自然」

天売島の自然について考察し、今後の天売島の姿について考えることを学習目標に天売学の授業を進めています。10月8日(土)、29日(土)と2回にわたり天売島在住の自然写真家の寺沢孝毅様から「天売島の自然を伝える」をテーマに講話をしていただきました。1回目は「ウミガラス100羽 絶滅回避か」と題して、絶滅を回避するためにウミガラスの疑似模型を岸壁へ設置するなど繁殖を促す取組のお話と、2回目「オロロン鳥の子守歌」では歌と音楽に合わせた人形演劇でオロロン鳥の巣立ちを表現する浄瑠璃を見せていただきました。貴重な芸術・文化に触れる時間を過ごすことができました。



## 体協バドミントン大会

11月19日の体協バドミントン大会では、高校から3チームが出場しました。開閉会式の司会を始め、受付や試合中の進行、審判など高校生が主体となって大会運営を行う様子が見られました。試合中は授業や部活の練習の成果を見事に発揮し、良いプレーがたくさん見られました。決勝リーグに進出したチームは格上相手に競り合う場面が多く、貴重な経験を得られたかと思います。次回の体協行事も生徒の積極的な運営と参加に期待したいと思います。

今年度も新型コロナウイルス感染症対策を行いながら体協事業を進めております。島民の皆様におかれましては、日頃からご理解とご協力いただきありがとうございます。



## 令和4年度 後期中間考査を終えて

### 考査って???(後期中間考査)

先日、後期中間考査を行いました。結果どうでしたか?では、質問です。なぜ定期考査を行うのでしょうか?こんな事、考えたことありますか?

①自分の学習の定着を試す?②評定で進路のため?③無理矢理やらされる?それぞれ思う事がありますね。例えば、スポーツの場合、普段、練習をしますね。そして練習の成果を大会で発揮する為に、一生懸命頑張ります。

(天売高校も定体連の前は燃えています) 普段の練習の成果を試すのに、大会はととも一生懸命になれる。普段の練習が一生懸命であればあるほど大会に向けて頑張るはず。逆に、普段の練習を頑張っていない選手は、大会に積極的ではないはず。

定期考査も同じではないでしょうか? 普段の練習は(授業)・実力を試す大会は(定期考査) 真剣に取り組んでいる事って、頑張るよね 物事をどう、考えるかで、見える景色が変わるよ 大切な事は、どんな事でも一生懸命になる事。



## 1年タコ燻製（水産実習）

11月15日、水産実習「タコ燻製」を実施しました。前日にマキリ研ぎと小屋掃除を済ませ、当日はタコの下処理と味付けを施し、それらを半日寝かせてから風乾と燻製を行った後、真空パックに詰めるという作業工程でした。

慣れない作業だったので手こずるのではないかという心配もありましたが、互いに教え合いながら手際よく進めることができていました。特に小屋の掃除や調味料の計量を行う場面では、一人一人が自分の役割を全うしつつ、楽しそうに協働する姿が見られたのが印象的でした。

出来上がったタコの燻製を笑顔で食べる1年生のようすは、とても微笑ましいものでした。自分たちの手で一から作ったものだからこそ、喜びもひとしおだのではないかと思います。1年生は今回の実習を通して、水産資源の加工技術を習得するとともに、心の面でも成長できたように感じます。



## 3年スモークサーモン（水産実習）

11月15日に、3学年で水産実習「スモークサーモン」を実施しました。材料はベニザケを使用し、すべて手作業で行いました。

作業工程は、まずベニザケのうろこをきれいに取り除き、3枚におろして魚体を洗浄します。続いて調味料とともに水の入った樽に漬けこみ、網に広げて風乾と燻乾の作業を交互に繰り返します。乾燥したら、中骨除去・整形・真空パック作業を行ってすべての工程が終了です。

3年目の水産実習なのもあり手慣れた手つきで作業を行い、旨みが凝縮した美味しいスモークサーモンが完成しました。

生徒は「おいしいスモークサーモンができてよかった」と充実した様子でした。



## 水産クラブ校内発表会

10月22日に天売高校で水産クラブ校内発表会が行われました。1～3学年それぞれが海に関する課題解決や研究をテーマに設定し、SDGsの取り組みと絡めて発表を行いました。昨年の研究を継続するチームや、新しくテーマ設定し研究に取り組むチームなど、自らが気になるテーマについて研究を重ねてきました。生徒たちは、パワーポイント作成や、発表原稿作成などとチーム内で上手に役割分担をして発表準備を行っていました。

大会当日は、たくさんの方が参観して下さる中、研究の完成度や発表の工夫などを競いました。最優秀賞のチームが11月に小樽で行われた全道大会に天売高校の代表として参加しました。

### 《審査結果》

- ・「生息地以外での海水でガヤを育てるとどうなるか」
- ・「ハッチャン」
- ・「海とプラスチック～天売島を守っていく～」
- ◎「プロジェクト天売～稚貝の放流でアワビを救う～」
- 「MPsはどこからくるのか」



## 北海道水産クラブ研究発表大会

11月8・9日に小樽で北海道水産クラブ研究発表大会が開催されました。

天売高校からは、校内予選で優勝した2学年のチーム代表2名が代表で発表をしてきてくれました。発表テーマは、天売島で昔盛んだったアワビ漁について調べ、天売でのアワビ漁の発展に向けて研究をするというものでした。全道の水産高校が集まりハイレベルな発表を行う中、研究の成果を堂々と発表し、全体で3位の成績の努力賞を獲得することができました。

改めて、天売高校の水産クラブの研究、発表に協力していただいた天売島の皆さまにお礼申し上げます。ありがとうございます。

